

2年 算数科	ブロックはいくつあるかな	2年①
目標	規則正しく並んだ数図ブロックの数の求め方について、図や式などを用いてわかりやすく説明する方法を考えることができる。 (思考力・判断力・表現力)	
使用した ICT 機器類・教具等	大型テレビ、OHC	
思考ツール・プログラミング	フローチャート	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・フローチャートを用いることで手順を可視化し、問題を解いていくなかで論理的思考力を高める。

◆授業の実際

1 数図ブロックの数を考えよう

- 並んでいる数図ブロックを提示すると、多くの子どもは指で一個ずつ数えて数を求めていた。
- 自分の考え方の発表では、子どもは自分の求め方を OHC に映しながら説明することができた。子どもたちはまとまりを見つけて数えるという方法があることに気づいた。

2 数図ブロックの数の求め方を図や式を使って説明しよう

- 順序立てて説明することができるように、「まず」、「次に」という言葉を使うように助言をしたことで、子どもはまとまりを見つけること、計算をすることを順序立てて説明することができた。
- 複数の子どもに OHC を使って考えを発表させることで、数図ブロックのまとめ方に違いはあるものの、まとめた後に計算するという手順は共通していることを理解させることができた。

3 求め方の手順をフローチャートを使ってまとめよう

- 子どもたちが言葉で説明した手順を、黒板にフローチャートを用いてまとめたことで、子どもの思考を可視化することができた。

4 完成したフローチャートを用いて類似問題を解こう

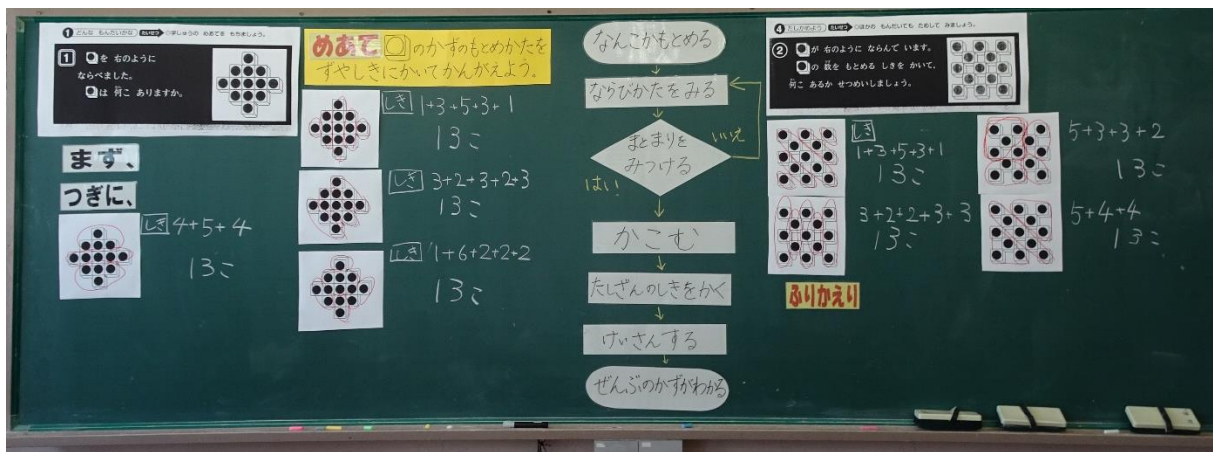
- 「ならび方を見る→まとまりを見つける→かこむ→たし算の式を書く→計算する」の手順で、さまざまなやり方で解くことができた。



[OHC を使って自分の求め方を説明]



[図と式を使い順序立てて説明]



◆実践を通して

- ・数図ブロックの求め方を「フローチャート」にして表すことで、思考や手順を可視化して、順次を論理的に考えていくことができた。また、複数の求め方を意欲的に考えることができた。
- ・「フローチャート」にまとめる前段階で思考を整理するために、「まず」や「次に」という言葉を使うことを意識させることで、順序立てて説明させることができた。今後フローチャートを子どもたち自身でつくっていくために、このような手だては有効であると考えられる。

